

★学校の教育目標	◎自ら考え学び続ける子 ○思いやりをもち行動する子 ○心と体の健康をつくる子 ○協働してやりぬく子	★重点計画の概要	「みんなが笑顔」プロジェクト自分と他者の多様な個性を前提に、子供たち全員
★目指す学校像（ビジョン）			
【目指す児童像】	○自ら課題を見つけ、考え、自分の力で学び続ける児童 ○友達や周りの人への思いやりの心を持ち、行動する児童○運動に親しみ、心身ともに健康・安全に気を付けて生活する児童		
【目指す学校像】	一人一人を大切にみんなの笑顔がはじける学校 みんなのウェルビーイング○子供たちが毎日笑顔で過ごせる学校 ○教職員がやりがいを持ち自己実現できる学校 ○保護者が安心して子供を通す		
【目指す教師像】	○すべての児童を大切にし主体的な学びを育む教師 ○保護者・地域とつながり創造的に教育活動を行う教師 ○常に授業改善に努め協働して高め合う教師		

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価指標・評価基準			学校評議員・学校運営協議会の意見	結果の分析と改善策
				評価点	取組指標	評価点		
みんなが当事者として、自ら歩む道をつくる	【学びの羅針盤・創造】 変化を起こすために自分で目標を設定し、振り返り、責任をもって行動し、やり抜く力を育む	子供たちが自立した学習者として自ら課題を見つけ、考え、自分に合った多様な学び方で探究的に深く学べるようにする。	①子供が自ら課題をもち、誰もが自立的に学べる学習（探究プロセス・UDL・単元内自由進度学習等）を行う。 ②対話を生かした学習（グループ学習・自学自習・たてわり学習・ICT機器の活用等）を行う。 ③時間と場所を選ばない学習（学習環境整備・学校と家庭の学びの連続性・自学ノート等）を行う。 ④デジタル・シティズンシップ教育や日常的に運動に親しむ機会の創出・コミュニケーションを重視した外国語教育を行う。	4	4 具体的方策に、教員の90%以上が取り組んだ。	3	児童アンケートで、児童の90%以上が肯定的な評価をした。	教員の回答は90.4%、児童の回答は86.8%と高評価となった。昨年度まで校内研究テーマであった探究学習を生かしつつ、今年度から始めたUDLの校内研究を深めていくことで、教員が具体的方策を意識した授業を行えるようにする。  ・学校公開や防災フェスなどで、児童は本当に生き生きと学習から学んだことや自らの意見を述べていた。学習の中での自己表現を行う姿を見ることができ、成果を感じた。 ・将来何になりたいか？どのようなことをしたいか？そのためにどんな力を身に付けたらよいか？など児童との対話を通して、学ぶ理由や目的を伝えてほしい。
	【教職員の挑戦】 目指す学校像に向け、チームとして挑戦し、成長を実感する	教職員が明るく健康に働き自己実現し、教育の質的向上を図る。	⑤チーム学年・学校を意識して、積極的に協働する。 ⑥プレミアムデーを有効的に活用する。 ⑦ライフ充実デーを取得できるように計画的に働く。 ⑧一か月の超勤が45時間にならないように意識する。	4	4 具体的方策に、教員の90%以上が取り組んだ。	3	児童アンケートで、児童の90%以上が肯定的な評価をした。	
				4	3 具体的方策に、教員の85%以上が取り組んだ。	3	児童アンケートで、児童の85%以上が肯定的な評価をした。	
				4	2 具体的方策に、教員の80%以上が取り組んだ。	3	児童アンケートで、児童の80%以上が肯定的な評価をした。	
				4	1 具体的方策に取り組んだ教員が80%未満であった。	3	児童アンケートで、肯定的な評価をした児童が80%未満であった。	

★学校の教育目標	◎自ら考え学び続ける子 ○思いやりをもち行動する子 ○心と体の健康をつくる子 ○協働してやりぬく子	★重点計画の概要	「みんなが笑顔」プロジェクト自分と他者の多様な個性を前提に、子供たち全員
★目指す学校像（ビジョン）			
【目指す児童像】	○自ら課題を見つけ、考え、自分の力で学び続ける児童 ○友達や周りの人への思いやりの心を持ち、行動する児童○運動に親しみ、心身ともに健康・安全に気を付けて生活する児童		
【目指す学校像】	一人一人を大切にみんなの笑顔がはじける学校 みんなのウェルビーイング○子供たちが毎日笑顔で過ごせる学校 ○教職員がやりがいを持ち自己実現できる学校 ○保護者が安心して子供を通す		
【目指す教師像】	○すべての児童を大切に主体的な学びを育む教師 ○保護者・地域とつながり創造的に教育活動を行う教師 ○常に授業改善に努め協働して高め合う教師		

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価指標・評価基準				学校評議員・学校運営協議会の意見	結果の分析と改善策
				評価点	取組指標	評価点	成果指標		
みんなの多様な学びとあわせをつくる	【インクルージョン】自分と他者の多様な個性を認め合い、みんなが安心して表現し、失敗を恐れず挑戦する力を育む	様々な人との関わりによって豊かな人間性を育み、思いやりのある行動で一人一人が大切にされ、自己有用感を得られるようにする。	⑨人権教育・道徳教育・学級活動・挨拶や言葉遣いなどの指導を通して、児童の自己有用感を高める。 ⑩たてわり班活動や読み聞かせ、体験活動などを通して、様々な人との関わりによって、児童の人間性を育む。	4	4 具体的方策に、教員の90%以上が取り組んだ。	4	4 児童アンケートで、児童の90%以上が肯定的な評価をした。	児童は素直で、責任感が強く自他共に認め合える子が多いと感じる。たてわり班活動やクラスでの係活動等の取組が身を結んでいると思う。 ・高学年を見ていると、自分自身の考えをまず伝え、それから他者の考えを聞く姿勢が定着している。自分は〇〇であるという思いが他者にどう影響しているかを今から自覚していく姿勢は大事であるので、継続的な指導をお願いしたい。	児童の回答は昨年度に比べ、約9%向上し88.3%であったが、「わからない」の項目に約10%の回答があった。今後、教員が児童に寄り添いながら、具体的方策や児童発の活動などを通して、児童の自己肯定感を高めるとともに、児童同士のより良い人間関係を築いていく。
				3	3 具体的方策に、教員の85%以上が取り組んだ。	3	3 児童アンケートで、児童の85%以上が肯定的な評価をした。		
2	2 具体的方策に、教員の80%以上が取り組んだ。	2	2 児童アンケートで、児童の80%以上が肯定的な評価をした。						
1	1 具体的方策に取り組んだ教員が80%未満であった。	1	1 児童アンケートで、肯定的な評価をした児童が80%未満であった。						
みんなの多様な学びとあわせをつくる	【居場所・活躍】子供たち全員の居場所と活躍の機会を支える	誰も置き去りにしない精神のもと、子供たちにとって第一の居場所としての学校づくりをする。	⑪いじめや不登校の未然防止・早期発見を常に意識し、学年やいじめ対策委員会、校内支援委員会などの組織的な対応をする。 ⑫学年・ステップ教員・RR教員・SC・SSW等と迅速で綿密な連携をとる。 ⑬学級活動や委員会活動、学校行事等で児童の意見を反映する。 ⑭指導方法の工夫や学級・学校環境の整備などを通して、特別支援教育を意識して取り組む。 ⑮学校全体を学びと心の居住空間にするように心掛ける。 ⑯道徳教育や食育、安全教育を通して、健康で安全な生活の基盤づくりに取り組む。	4	4 具体的方策に、教員の90%以上が取り組んだ。	4	4 児童アンケートで、児童の90%以上が肯定的な評価をした。	・教員だけでなく、講師や支援員さんも含め児童が充実した生活を送れるように児童と接していると感じた。 ・児童にとって「居場所」づくりはいつの時代でも大事なテーマである。学校生活が楽しく、健全に運営できますことを願っている。	「相談できる先生やSCがいる」という項目では、児童の回答が92%と高評価であった。毎週の校内支援委員会で情報や手立ての共有ができたことが不登校やいじめの未然防止・早期対応につながった。今後も、校内支援委員会の充実を図るとともに、学びと心の居場所づくりを推進していく。
				3	3 具体的方策に、教員の85%以上が取り組んだ。	3	3 児童アンケートで、児童の85%以上が肯定的な評価をした。		
				2	2 具体的方策に、教員の80%以上が取り組んだ。	2	2 児童アンケートで、児童の80%以上が肯定的な評価をした。		
				1	1 具体的方策に取り組んだ教員が80%未満であった。	1	1 児童アンケートで、肯定的な評価をした児童が80%未満であった。		

★学校の教育目標	◎自ら考え学び続ける子 ○思いやりをもち行動する子 ○心と体の健康をつくる子 ○協働してやりぬく子	★重点計画の概要	「みんなが笑顔」プロジェクト自分と他者の多様な個性を前提に、子供たち全員
★目指す学校像（ビジョン）			
【目指す児童像】	○自ら課題を見つけ、考え、自分の力で学び続ける児童 ○友達や周りの人への思いやりの心を持ち、行動する児童○運動に親しみ、心身ともに健康・安全に気を付けて生活する児童		
【目指す学校像】	一人一人を大切にみんなの笑顔がはじける学校 みんなのウェルビーイング○子供たちが毎日笑顔で過ごせる学校 ○教職員がやりがいを持ち自己実現できる学校 ○保護者が安心して子供を通す学校		
【目指す教師像】	○すべての児童を大切にし主体的な学びを育む教師 ○保護者・地域とつながり創造的に教育活動を行う教師 ○常に授業改善に努め協働して高め合う教師		

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価指標・評価基準				学校評議員・学校運営協議会の意見	結果の分析と改善策
				評価点	取組指標	評価点	成果指標		
社会と未来に関き、みんなで作る	【対話・協働】 自分たちで考え、語り合い学び合い、対立を乗り越え協働する力を育む	子供たちが地域から学び、地域とともに活動することで、自らすすんで地域社会に関わろうとする態度を育てる。	⑰官公庁や地域商店、企業等と連携し、ゲストティーチャーを生かした授業を行う。 ⑱日野中央公園や野鳥の森公園、黒川清流公園など自然環境をステージにした学習を行う。 ⑲SDGsカレンダーを意識した学習を通して、社会参画意識を醸成する。 ⑳近隣学校（幼保園・大坂上中・日野台高校・実践女子大等）と連携した授業等を行う。	4	具体的方策に、教員の90%以上が取り組んだ。	4	児童アンケートで、児童の90%以上が肯定的な評価をした。	・学校のHPに地域コーナーを作ってくださり感謝している。 ・年間を通して、地域との関わりがある授業や地域人材を招いた授業が設けられており、近隣の学校との交流も積極的に行われている。それぞれの立場の人々が児童との関わりや教育への協働を大切にしていると感じた。	教員の回答は89.2%と評価点4を若干下回ったが、高い意識を持って取り組んだ。児童の回答は昨年度同様80%前半で大差なかった。「お子さんがこの地域に対しての思いが深まった」という保護者に対しての項目では、約93%と評価の高い回答であった。今後も、学校・保護者・地域と協働して、児童の地域社会に関わろうとする態度を育てていく。
				3	具体的方策に、教員の85%以上が取り組んだ。	3	児童アンケートで、児童の85%以上が肯定的な評価をした。		
2	具体的方策に、教員の80%以上が取り組んだ。	2	児童アンケートで、児童の80%以上が肯定的な評価をした。						
1	具体的方策に取り組んだ教員が80%未満であった。	1	児童アンケートで、肯定的な評価をした児童が80%未満であった。						
社会と未来に関き、みんなで作る	【多様な参画】 様々な当事者から応援され、多様な人材が活躍する	学校が核となって地域・企業・教育機関とつながり、それぞれが連携して学校教育を支えるスクール・コミュニティを形成する。	㉑学年行事や学校行事等で保護者・地域の方のボランティアを促す。 ㉒保護者会や学校公開、学校行事を通して、地域に教育活動の見える化を図り、双方向な意見交換による「みんなの学校」づくりを推進する。 ㉓コミュニティ・スクール委員会と協力して、学習活動の充実を図る。	4	具体的方策に、教員の90%以上が取り組んだ。	3	保護者アンケートで、保護者の90%以上が肯定的な評価をした。	・学校外で児童に会うと、言葉を掛けてくれる児童が増えた。また、話しかけた後にお礼を言ってくれる児童もいる。地域に溶け込んでいると感じる。 ・昨年度よりも地域に開かれた学校になったと感じる。その反面、防犯面では心配に思うこともある。相反することなので、難しさを感じる。	保護者評価のCSに関する項目では、約93%とCSについての認知度が高まった。教員もCS委員との交流会をもつことで、連携していこうとする意識が高まった。来年度は、CS委員会で検討した具体的な取組を、教員や保護者、地域の方と協働して、児童のためになる活動にしていく。
				3	具体的方策に、教員の85%以上が取り組んだ。	3	保護者アンケートで、保護者の85%以上が肯定的な評価をした。		
				2	具体的方策に、教員の80%以上が取り組んだ。	3	保護者アンケートで、保護者の80%以上が肯定的な評価をした。		
				1	具体的方策に取り組んだ教員が80%未満であった。	3	保護者アンケートで、肯定的な評価をした保護者が80%未満であった。		

※評価指標・評価基準は、2の段階を現状としています。